

平成 28 年度 置賜支部 第 2 回勉強会報告

日 時：平成 28 年 9 月 16 日（金） 18:30～20:00

会 場：米沢市すこやかセンター

テーマ：肺理学療法（講義と実技）

参加者：58 名

講 師：菅野英雄先生、後藤忠幸先生、宮坂怜先生（三友堂病院）

佐藤堅一先生、小松裕和先生、関原雅人先生（米沢市立病院）

佐藤昌利先生（三友堂訪問看護ステーション）

海老名陽介先生（公立置賜総合病院）

平成 28 年度置賜支部の第 2 回勉強会は、上記テーマにて、8 名の講師の先生をお招きして開催されました。講師の先生方は皆さん 3 学会合同呼吸療法認定士の資格をお持ちの方々です。

前半は、菅野英雄先生より「肺理学療法」のテーマで、肺理学療法の目的、呼吸器の構造、呼吸器フィジカルアセスメントについての講義を行っていただきました。解剖学や生理学の内容も含まれており、肺理学療法に取り組む上での基礎的な内容をお話していただきました。

後半の実技は、7 名程度のグループに分かれ、体表解剖、肋骨の動き、呼吸介助の練習を行いました。呼吸介助については上部胸郭、下部胸郭に対して、それぞれに適した姿勢や方法を紹介していただきました。特に体の使い方や手の触れ方、力の入れ方など講師の先生から直接アドバイスをいただける機会となりました。

最後に菅野先生より COPD についてのお話もあり、普段接している患者さんの中にも肺理学療法を必要としているのを見過ごされている可能性があることを強調されていました。

今回のように小グループに分かれての実技という形式は置賜支部では初の試みでした。会場が狭く、周りを気にせざるを得ないところもありましたが、正しい技術を直接目の当たりにできたという点で、参加者にとって肺理学療法を学ぶ良いきっかけになったと思います。



（文責：介護老人保健施設かがやきの丘 吉見 徹）